

令和5年3月27日

藤沢市長

鈴木恒夫様

議会議長

佐賀和樹

議会報告会「カフェトークふじさわ」で出された意見等の提出について

## 1. 経緯

本市議会は、平成25年2月に制定された藤沢市議会基本条例に基づき実施してきた議会報告会の形を変え、平成28年から「カフェトークふじさわ」を開催してきました。

令和2、3年度はコロナ禍により対面での開催ができなくなったことから、オンライン形式で「Online カフェトークふじさわ」として開催しましたが、今年度は3年ぶりに対面式での「カフェトークふじさわ」を開催しました。

湘洋中学校、明治中学校、湘南台高等学校の生徒のほか、地域団体・サークル活動をしている方々、そしてカフェトークふじさわの講師及びファシリテーションを依頼している関東学院大学牧瀬准教授のゼミナール生にもトークに参加していただきました(令和4年11月13日開催)。

今回は2部構成で開催し、第1部は「スポーツ」、第2部は「市民会館」をテーマとしました。全体の進行について、第1ステージは、藤沢市におけるスポーツ・市民会館の課題は何か?について意見交換し、第2ステージは、藤沢市にとって望ましいスポーツ・市民会館の在り方とは何か?について探求し、第3ステージは、望ましいスポーツ・市民会館の在り方を実現させるための具体策について意見を出し合い検討し、最後に知見を共有しました。

また、牧瀬ゼミナール生からは、カフェトークふじさわで参加者から出された意見を基にゼミ内で議論を進め、令和5年2月4日に正副議長及び広報広聴委員会に対して政策提言の発表がありました。

この度、これらの結果を集約しましたので、趣旨をお汲み取りいただき、今後の藤沢市の参考としていただきたく、提出します。

## 2. カフェトークふじさわで出された意見・課題解決の方法

### (第1部) スポーツ

#### ○主な意見

- ・誰でも参加しやすいスポーツを(多様性を意識する)
- ・障がいをもつ人も一緒に参加できる競技を
- ・「藤沢なら～」というスポーツを作る
- ・プロスポーツ選手をよんで、交流増やしてほしい
- ・マリンスポーツ以外のPRが足りない

#### ○課題の解決方法等

- ・アプリを活用すべき
- ・ポイント制を導入するなどの試み

- ・バリアフリーを配慮した施設に
- ・体育館に冷暖房設備をつける
- ・無料体験を行う、スポーツに必要な道具を提供するなどを行う

## (第2部) 市民会館

### ○主な意見

- ・人数少ないと予約しにくい
- ・LINE以外のSNSを拡げてほしい(周知方法)
- ・皆が気楽に使えるように
- ・若者の利用が少ない
- ・1年先など予約が早すぎる
- ・藤沢らしさ、強みがわからない
- ・「市民会館」名前に親しみがない

### ○課題の解決方法等

- ・いつもロビーに人がいるようにする
- ・年1回の市民会館まつりを実施
- ・シャトルバスやスロープ等の工夫を
- ・ポイントカード、スタンプラリー活用
- ・クラウドファンディングをする
- ・イベントの量やジャンルの多様化
- ・世代別、世代間交流を増やす試み
- ・常設展示の工夫をする(藤沢らしさ)
- ・友の会をつくる
- ・新時代の藤沢をさがす取り組み

## 3. 牧瀬ゼミナール生による政策提言の内容

別紙のとおり、実際に発表の際に使用されたスライドを参考として添付します。

以 上